

たかあき
かつまた 孝明 です！



昭和51年4月7日生まれ（35歳）
出身 沼津市
住所 沼津市花園町
家族 父親（沼津市出身）
母親（伊豆市出身：修善寺）
妻・長男・長女

経 歴

〔学歴〕

しょうえい幼稚園
沼津市立門池小・門池中 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業
（経営学修士：MBA取得）

〔職歴〕

平成12年4月 スルガ銀行株式会社入社
財団法人企業経営研究所 研究員
（地域経済産業分析）
経営企画部 人事担当マネージャー
平成22年12月 スルガ銀行株式会社退職
平成23年1月 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部 支部長

— お知らせ —



<http://ameblo.jp/t-katsumata>

ブログはじめました！！元気に毎日更新中！

いま、自民党が熱い！自民党員を大募集中！！

自民党に入党して、党員として自民党そしてかつまた孝明を支えてください！

入党資格

- ・ わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- ・ 満18歳以上で日本国籍を有する方
- ・ 他の政党の党籍を持たない方

党費：一般党員 年額4,000円、家族党員 年額2,000円

申し込み方法

- ・ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部までご連絡ください。電話、eメール、直接お越し
いただいても結構です。



通
信

— 第 10 号 —

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部
410-0048 沼津市新宿町 16-5 まるやビル 1-B
電話：055 (922) 5526 FAX：055 (922) 5527
ブログ：<http://ameblo.jp/t-katsumata>
公式サイト：<http://www.t-katsumata.com>
eメール：jimin@t-katsumata.com

静岡6区【沼津・伊東・熱海・下田・伊豆・伊豆の
国（旧韭山・大仁）・賀茂郡・駿東郡（長泉・清水）】

ボランティア大募集（6区支部まで連絡下さい）
まるかつ通信の企画・配布・街頭演説サポート・ポ
スター貼りなどなど、楽しい仲間と共に！

自民党 衆議院 静岡県第6選挙区支部支部長
たかあき

かつまた 孝明氏

の「強靱な日本を創る」

～「コンクリートも人も！」～



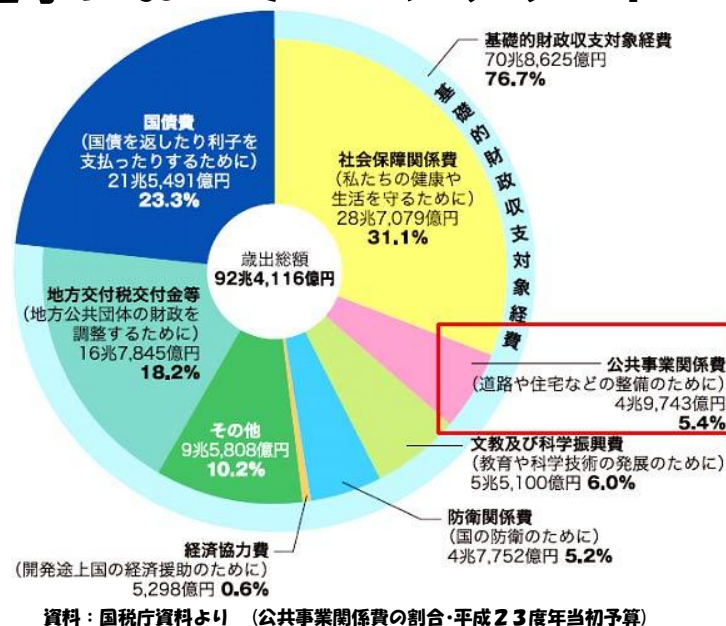
平成24年元旦初日の出を門池から拝む。

強靱な日本を創るために！

2009年の政権交代の選挙において「コンクリートから人へ」とのスローガンのもと、民主党は、公共事業予算の縮小と子供手当をはじめとする福祉の充実という耳障りの良い言葉で国民を翻弄した。

結果として、平成22年度予算において公共事業費は対前年度比約18%も減らされてしまった。

一体この「コンクリートから人へ」というスローガンは正しかったのだろうか。特にこのコンクリートを代表する公共事業予算の大幅な減少は、日本の将来を考えたときに正しいといえるのだろうか。今回、東日本大震災から考える今後の日本の国土の安全性、そして長期のデフレ下における経済的側面からの影響を考えたい。



日本の国土は大丈夫か！？

まずこの地域において、東海・南海・東南海沖の地震が30年以内に起こる可能性が50%~87%であるということだ。決して予断を許さない現状の中で、地震・津波による被害を最小限にすることはさることながら、被災後の救援等を迅速に行い、2次災害を防いでいくために

も、地域における社会基盤の整備は急がなければならない。災害時に避難所にもなる高規格道路の整備。液状化に対応するための地盤改良。また新設はもとより、戦後竣工から 50 年以上経過している橋梁などの補修といった維持管理に対しても目を向けていかなければならない。

デフレ脱却のためにも…

そして何よりも経済的側面からこのような公共事業を財政出動によって賄うことが重要である。デフレ下の経済状況の中で、この需要と供給のギャップ、いわゆるデフレギャップを、供給を減らすことで埋めようとするとう倒産・失業・自殺者が増えていく。いまの経済はこの繰り返し（デフレスパイラル）になってしまっている。

今やらなければいけないことは、このデフレギャップを需要を増やすことで埋めていかなければならないことである。そこで、これから必ず来るであろう東海・南海・東南海沖の地震に備えた強靱な日本を作っていくべく社会基盤の整備（公共事業）を財政出動によって行うことに着目したい。これは、2 年後、3 年後とデフレギャップの縮小によって景気が本格回復するまでの間となることは言うまでもない。

景気回復を図り強靱な日本を創りあげていくことができる、まさに「コンクリートも人も」の政策であると考ええる。